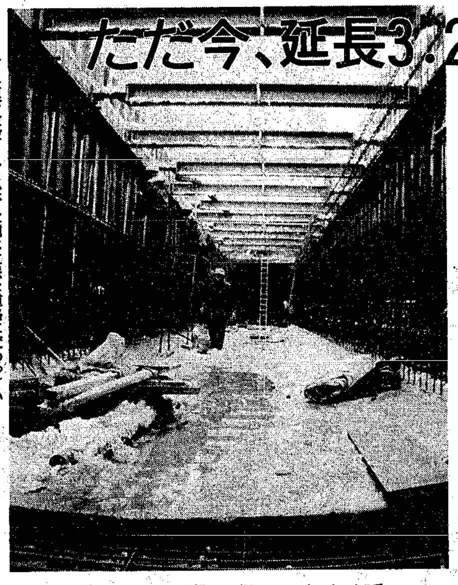
# ただ今、延長3.2キロ

## 坂井輪幹線下水道工事


下水道が敷設された後、大堀は立派な道路に変わっていく

市では、寺尾東一丁目地内で、坂井輪幹線下水道工事を行っています。大堀排水路を埋め、代わりに地下約六・五㍍に、縦・横三・四㍍四方の下水道暗きょを敷設するものです。昭和五十八年度は、延長九十㍍、総工費約一億円で、三月末まで工事が行われます。

この工事は、四十四年から三カ年で坂井輪ポンプ場（関屋分水路左岸）を造り、四十六年から、平島から内野に向かって暗きょを大堀排水路に敷設しているものです。総延長約九キロ㍍で、現在、平島から寺尾までの約三・二キロ㍍が完成しました。

工事期間は、農業用水である西川に大堀排水路の汚水を流すため、毎年、農業用水が不要な八月十六日から翌年の三月三十一日までに限られています。

工事区間は、都市計画道路「小針坂井線」の計画路線と重なっており、大堀排水路埋め立て後は、順次、道路幅十六㍍の立派な道路に生まれ変わっています。

平島から坂井までの旧116号線と西川に狭まれた住宅街は、ほぼ海抜マイナス一㍍の低い土地であるため、自然排水がほとんどできない状態です。現在は、ポンプで信濃川や西川に強制排水を行っています。

このため、坂井輪排水区（面積八百三十七㌶、人口約六万二千人）の汚水を坂井輪幹線下水道に集め、坂井輪ポンプ場から信濃川を横断して中部下水処理場へ送ることを計画しています。

市では、これからも引き続き同下水道の敷設延長と埋め立て後の道路整備を行います。

---

## 第三次総合計画 入選論文②

# 未来の新潟 ―まちを考える組織づくり

新潟青年会議所 アストロドームトライ委員会
委員長 小畷（こあぜ）弘一（関屋浜松町、37歳）

### 生まれ変わった港周辺

赤い大きな夕陽を受けて、大ドームの屋根がギラギラと輝く。万代橋の下流の一部を埋め立てて建設した、全天候型多目的大ドームである。港を背景に野球場がスッポリ入る巨大なその姿はシドニーのオペラハウスを思わせる。さらに目を転じると霧の中に近代的な港大橋が新潟の新しいシンボルとして浮かび上がる。

ドーム周辺には港町特有の健康的な飲食店街、ショッピング街が数多くの観光客を集めにぎわっている。ゆでたてのカニ、焼きたての海の幸に舌つづみを打ったり。地酒に酔った明るい歌声も絶えない。

ちょっと足を伸ばすと、港を臨む公園が市民の格好の夕涼みの場となっている。

### モノレールと回遊橋

新潟国際空港では二千五百㍍滑走路に順調にジャンボ機が発着し、三千㍍への延長工事に着手した。空港から古町、ドーム、万代シティ、新潟駅とモノレールが走り、近々、新県庁、新大五十嵐キャンパスまで延長されようとしている。

島部への車の流入はずい分減った。都心地周辺の駐車場から人々はバスで中心部に集まる。中心商店街としての古町、本町の底力はすさまじく、沈没をうわさされた日は遠い昔になった。

万代橋と八千代橋の間に架橋された新橋は、人間中心の回遊橋として花で埋まり、西と東の新堤防の緑地をゆったりと結び、さらにこの延長は信濃川から海へまっすぐにつながる唯一の道として、信濃川、本町、古町、寄居町、護国神社、海と、気持ちの良い散策コースになっている。

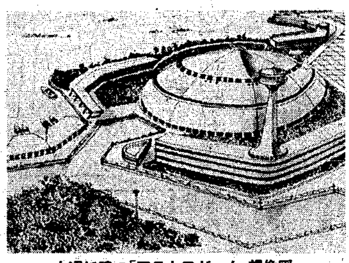
### 新潟駅を持ち上げる

目を駅南に移すと、そこには着々と副都心が成長している。何年か伸び悩みがあったが、駅全体を持ち上げ、東大通りを南に突き抜けさせるという大英断が効を奏し、それ以後の発展振りには目を見張るものがある。

オフィス街、ショッピング街のほかに各種学校の生徒たちによる学生街的なものも芽生えを見せ、注目されている。

### ドーム建設がまちを変えた

全国規模、いや、全世界規模の大会を新潟で！大ドームの建設が決定されてから全世界へ向けての精力的な誘致活動が展開された。各種大会、集会、スポーツ、見本市、音楽会と、大から小まで器用にこなすドームはもてもてである。ドームと信濃川、港の美しさとの調和が訪れた人々の心を捕らえ、感動を与え、もう一度必ず来たいという気持ちを抱かせる。周辺の新鮮な海の幸、山の幸も大きな魅力である。ドームそのものの採算はまだとれていないが、周囲に与えた恩恵は大きい。ホテルの建設ブーム、ショッピング街の整備、交通体系の見直しなど、ドーム建設が引き金となって新潟は大きく変わった。


水辺に建つ「アストロドーム」想像図

### 若々しい北部 緑の鳥屋野潟

中心部の再生に大きな貢献をしたのは北部の再開発であった。バス路線の充実を根幹とした計画により、居住地域として生まれ変わった、緑を取り入れた若々しい街は、新潟島の胃袋として、古町、本町、下本町のにぎわいの原動力となっている。

信濃川、港とともに新潟市の持つ大きな自然の財産である鳥屋野潟周辺の整備もほぼ終わった。自然科学館、図書館、実験劇場などの文教施設。体育館、武道館、プール、テニスコート、馬場などのスポーツ施設が完備し、健康的な声が湖周辺に満ちている。ホテル群も次第に市外に移転し、広々とした跡地は森に生まれ変わった。散歩道は小鳥の鳴き声に包まれている。

### 市民の危機感と連帯が原動力

このように大きな変革を現実のものとするのは容易なことではなかった。それを推し進めた大きな力は、まず市民全体の危機感と連帯であった。

このままでは新潟は忘れ去られてしまう、なんとかしなければという気持ちが新潟の未来を具体的に考える組織作りに着手させた。問題が非常に大きく、長期にわたるものであり、また専門的な知識を必要とするプロジェクトであったが、市民の熱意と、行政諸官庁の領域を越えた真剣な話し合い、計画立案が組織作りを極めてスムーズに進めさせた。そして計画部隊と実務部隊の連携を重視したことが実現を速めた。

各分野の市民の声を聴くと同時に市民債の募集による市民参加の方式も、市民の関心を深める意味で大きく役立った。

今振り返ってみると、適切な組織作りがいかに大切であるか、ということを強く感じさせる新潟のまちづくりであった。

---

## にいがた歴史夜話②

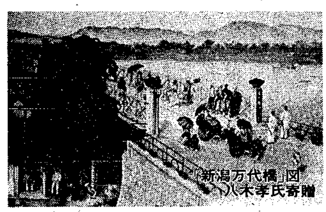
# にじのかけ橋

信濃川の水面は、今日の盛典を祝福するかのように秋の日に照り映えていた。

明治十九年十一月四日、午後二時、クサマキ、スギの香も新しい万代橋の橋上で華麗、盛大に開通式が行われていた。

全長七百八十二㍍、幅六・四㍍、総工費三万七百円で完成された木橋は欄干をはじめすべてが国旗、ちょうちん、菊花で飾られていた。県知事代理が祝辞を述べる。架橋の功労者八木朋直はこれに応じ「ソモソモ新潟、沼垂間ノ線路タル米沢、福島両街道ノ要衝」ではあるが「信川ソノ間ニ横流シ、僅カニ小舟相往来スルニ過ギズ」と架橋の必要性を述べ、「親友内山信太郎氏ツトニ架橋ノ必要ヲ感ジ、熱心工事ヲ計画シ、シバシバコレヲ官ニ請ヒ、ツイニ本年二月、ソノ允許（インキョ）ヲ得タリ」と橋をかける許可を得たのは内山信太郎であることを明言。

内山信太郎も「事物ノ進歩ヲ図リ商業ノ隆盛ヲ来タスハ運輸ノ便交通ノ利アルニアラザレバ能ハズ」と架橋の要を説き、「モシ今日以往社会公衆ノ便ヲ来タシ運輸交通ノ利ヲ起シ、以テ商業隆盛ノ一助トナルヲ得バ、独リ予輩ノ幸ノミナラザルナリ」と結んで答辞とした。


「新潟万代橋」図 八木孝氏寄贈

式が終わると渡り初めである。藤田半七（八十四歳）小川よし（九十一歳）の高齢者を先頭に、山車（だし）屋台をひいた職人姿の坂東連芸妓七十名、そのうしろから手古舞姿の市山連芸妓三十名が続く。空には景品くじ入りの花火が打ち上げられ、群衆はそれを追う。

橋上は二万人を越す群衆で埋めつくされた。

明治三十一年沼垂駅、明治三十七年新潟駅の完成により、この橋の重要性はいよいよ増加した。ところが明治四十一年三月八日この初代万代橋は新潟大火により焼け落ちるのである。

（新潟市郷土資料館）

---

### 妊婦健康診査と母子手帳の交付

**持参品** 妊娠届出書、印鑑

| 会場 | 月日 | 時間 |
|---|---|---|
| 東保健所 | 2月13、27日 | 午後1時～2時 |
| 北地区保健センター | 2月21日 | |
| 石山地区保健センター | 2月22日 | |
| 鳥屋野地区保健センター | 2月6日 | |
| 中地区保健センター | 2月20日 | |
| 西保健所 | 2月1、15、22、29 | |
| 西地区保健センター | 2月17日 | |
| 坂井輪地区保健センター | 2月8日 | |

### 成人病食事相談

**日時** 2月1日午後1時～3時
**会場** 石山地区保健センター
**申し込み** 電話で会場へ

### 保健婦による健康相談

| 地区 | 月日 | 会場 | 時間 |
|---|---|---|---|
| 赤塚 | 1・24 | 木山農業協同組合 | 午後1時～3時 |
| 南浜 | 〃 | 太郎代公民館 | 午後1時半～3時 |
| 松浜、南浜、濁川 | 1・25 | （医師による相談）北地区保健センター | 午後1時半～3時 |
| 中野小屋 | 1・26 | （栄養士による相談もあり）笠木公民館 | 午後1時～3時 |
| 大江山 | 1・27 | 大江山農村環境改善センター | 午前10時～正午 午後1時～3時 |

### 遺伝相談

**日時** 2月2、16日午後1時～2時半
**会場** 西保健所
**定員** 3人（個別相談、秘密厳守）
**相談担当者** 新潟大学医師
**申し込み** 電話で会場へ（予約制）

### 鳥屋野地区育児講習会

**日時** 1月27日午後零時半～1時受け付け
**会場** 鳥屋野地区保健センター
**対象** 鳥屋野地区在住で、生後6～7カ月の第一子をお持ちのお母さん20人
**内容** 小児科医の診察とお話、個人相談
**持参品** 母子手帳
**申し込み** 電話で会場へ（予約制）

### ママへの準備教室

**対象** 59年6、7月分べん予定の初産婦
**持参品** 母子手帳、エプロン、タオル
**定員** 各20人　**申し込み** 電話で会場へ

| 月日 | 会場 | 時間 | 内容 |
|---|---|---|---|
| 2・3<br>2・17 | 東保健所（都合のよい日を選択） | 午後1時半～3時半 | 赤ちゃんの衣類の選び方、おふろの入れ方（実習）ほか |

### 離乳食講習会

**対象** 生後4カ月に達した赤ちゃんをお持ちのお母さん
**申し込み** 当日会場へ

| 月日 | 会場 | 時間 | 持参品 |
|---|---|---|---|
| 1・25 | 東保健所 | 午後1時～3時半 | 母子手帳 |
| 1・26 | 西保健所 | （受け付け午前9時半～10時）午前10時～正午 | |

### 育児学級

**日時** 1月24日午後1時半～
**会場** 木戸公民館
**対象** 木戸、牡丹山、竹尾校区在住で58年10、11月生まれの第一子をお持ちのお母さん
**内容** 小児科医師・保健婦の話
**持参品** 母子手帳
**問い合わせ** 東保健所へ